

学校教育についてのアンケート結果について（ご報告）

梅花の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育の推進にご協力をご賜り誠にありがとうございます。

1月に本校教育に関するアンケートを実施しましたところ、保護者の皆様には、ご多用中にもかかわらずご協力いただきありがとうございました。その結果をまとめましたのでご報告いたします。皆様からの評価を真摯に受け止め、今後の本校教育に活かしてまいりたいと考えています。今後ともご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

グラフの見方

それぞれの項目について、保護者評価は（保護者）、職員評価は（職員）と表記しています。観点別結果は別紙をご覧ください。

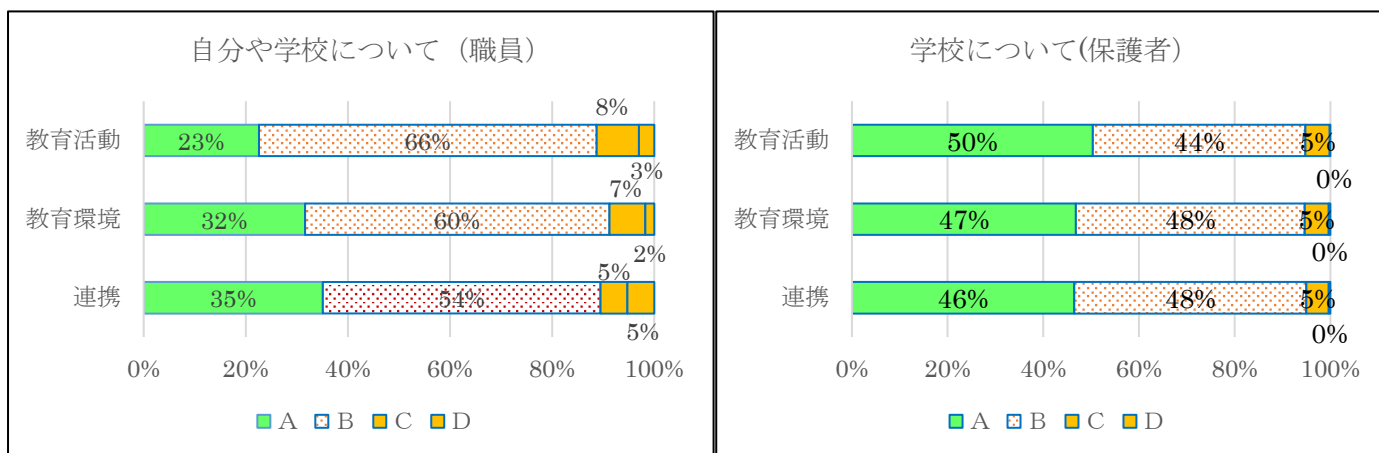
A：そう思う。または、できている。

B：どちらかというと思う。または、どちらかといえばできている。

C：どちらかというと思わない。または、どちらかといえばできていない。

D：そうは思わない。または、できていない。

1 学校について



(1) 教育活動について

学校目標については、年度始めのPTA総会や学校だより等でお伝えし、その周知については、保護者の方々から88%という高評価をいただきました。アンケートで「学校に行くのは楽しい」と答えた児童は86%であり、保護者の方々からのA・B評価は94%ではありますが、保護者・職員とも課題があると感じている（C・D評価）の割合は、それぞれ5%、11%となっております。今後も子どもたち一人一人としっかりと向き合うとともに、1人1台パソコンの時代に対応した学習活動の工夫と基礎・基本の定着を目指して分かりやすい授業を心がけてまいります。

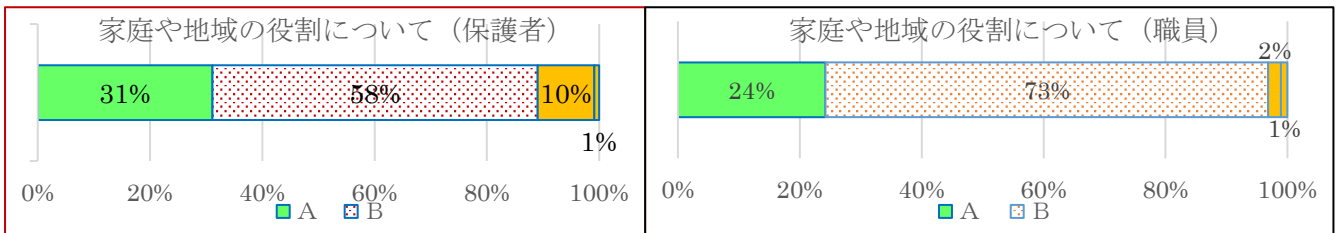
(2) 教育環境について

「整理整頓に気を配り、いつもきれいであるか」に対する保護者評価は92%と高評価となっております。児童の清掃活動に対する熱心な取組の成果でもあると思われます。しかし、施設・設備の中には古くなっているものもあることから、定期的に安全点検を実施するとともに、修繕や取り替えが必要な場合は早期に対応していくようにいたします。

(3) 連携について

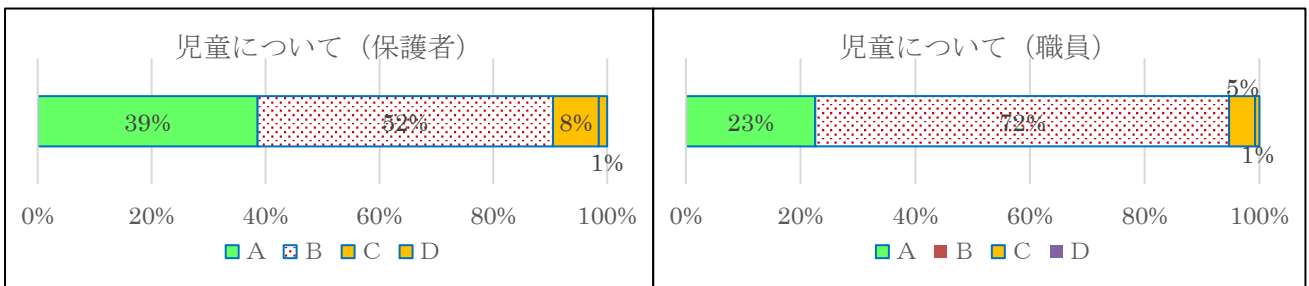
「地域と連携し、地域の支援を得て子育てを進めているか」に対する保護者評価は 88%でした。分散参観日、入れ替え制による学習発表会の開催、テレビ会議システムを活用した PTA 専門部会の開催等コロナ禍においても工夫して学校行事等を継続していきたくと考えています。また、本校は、教育活動全般において地域のいろいろな方々からの協力を得て充実した体験活動を実施することができています。これからも地域との連携を位置づけ意義深い活動ができるようにしていきたいと考えております。また、児童の教育活動については、懇談や学年通信を通じて保護者の皆様に分かりやすく発信するよう工夫していきます。

2 家庭・地域の役割について



「基本的な生活習慣や家庭学習、社会のルールが身に付くように努めているか」は 81%であり、「健やかな成長のためにのためにふれあいや対話をもつようにしている」は 86%でした。家庭におけるスマホやタブレットの使用時間の増加や睡眠時間の減少等が課題となっています。学校は家庭と連携しつつ児童に望ましい生活習慣がつくように努めたいと思います。また、家庭での対話は、児童の情緒を安定させるとともに、悩み等心身の変調への早期での気づきにもつながります。お忙しいとは思いますが、少しでも対話の時間を確保していただけたらと思います。コロナ禍で PTA 行事は縮小・変更を余儀なくされましたが、積極的に参加いただき、大変ありがたく思っております。今後もそのような機会を通して学校の取組や児童のがんばりを発信していくようにいたします。

3 子どもについて



「学校へ行くのを楽しみにしている」88%、「友達と仲よく助け合って、遊んだり勉強したりしている」87%と高評価ですが、「きまりを守り、規則正しい生活ができている」82%、「少しのことにくじけないでがんばろうとする気持ちや態度が育ってきている」79%という評価でした。学校では、昨年度より「ポジティブな行動支援」を進めております。いさわだよりでもお知らせしましたが、「まんてんプロジェクト」という名前です具体的な目標を設定し、全校的に取り組んでいます。「チャイムの合図ですぐに学習を始める」「自分から進んであいさつをする」など、児童の行動もプラス方向に伸びてきています。保護者の方々からの励ましや賞賛も児童のがんばりにつながると思います。次年度も今年度の反省をもとに取組を続けていきたいと考えております。ご協力よろしくお願いたします。